

# 幾何学概論第一 (MTH.B211)

5: 陰関数定理

山田光太郎

kotaro@math.titech.ac.jp

[www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2020/geom-1/](http://www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2020/geom-1/)

東京工業大学理学院数学系

2020/10/29(2020/11/05 訂正)

# 目標

## 事実

$\mathbb{R}^2$  の領域  $U$  で定義された  $C^\infty$ -級関数  $F$  に対して  
 $S := \{(x, y); F(x, y) = 0\}$  が空集合でないとする . もしも  $S$  の  
各点で  $dF = (F_x, F_y) \neq \mathbf{0}$  ならば ,  $S$  は  $\mathbb{R}^2$  の自己交叉をもたない  
なめらかな曲線となる .

## なめらかな曲線

- ▶  $\mathbb{R}^2$  の部分集合  $C$  が (自己交叉のない) なめらかな曲線であるとは, 各点  $P \in C$  に対して  $P$  の近傍  $U \subset \mathbb{R}^2$ ,  $\mathbb{R}$  の開区間  $I$ ,  $C^\infty$ -級関数  $f: I \rightarrow \mathbb{R}$  が存在して

$C \cap U$  が  $\{(x, f(x)); x \in I\}$  と合同となること.

- ▶  $\mathbb{R}$  の区間  $J$  で定義された  $C^\infty$ -級写像  $\gamma: J \rightarrow \mathbb{R}^2$  がなめらかな曲線であるとは,  $J$  の各点  $t$  に対して  $t$  を含む開区間  $J_t$  が存在して  $\gamma(J_t) \subset \mathbb{R}^2$  がなめらかな曲線となること.

# 逆写像定理

## 定理 (逆写像定理)

$n$  を正の整数とする.  $\mathbb{R}^n$  の領域  $U$  で定義された  $C^\infty$ -級写像  $f: U \rightarrow \mathbb{R}^n$  のヤコビ行列式が  $a \in U$  で零でないとする. ある  $a$  の近傍  $V$  が存在して次を満たす:

- ▶  $f|_V: V \rightarrow \mathbb{R}^n$  は単射,
- ▶  $(f|_V)^{-1}: f(V) \rightarrow U$  は  $C^\infty$ -級.

# パラメータ表示された曲線

## 定理

正則にパラメータ表示された曲線  $\gamma: I \rightarrow \mathbb{R}^2$  はなめらかな曲線 .

## 証明.

- ▶  $\gamma(t) = (x(t), y(t))$  とおくと  $x, y: I \rightarrow \mathbb{R}$  は  $C^\infty$ -級 .
- ▶  $t_0 \in I$  をとる . 正則性から  $\dot{\gamma}(t_0) \neq 0$  だから  $\dot{x}(t_0), \dot{y}(t_0)$  のいずれかは零でない .
- ▶  $\dot{y}(t_0) \neq 0$  のとき , 逆写像定理から  $t_0$  を含む开区間  $I'$  で  $y|_{I'}$  が単射 , 逆  $\varphi: J' := y(I') \rightarrow I'$  が  $C^\infty$ -級となるものが存在 .
- ▶  $\gamma(I') = \{(x(t), y(t)); t \in I'\} = \{(x \circ \varphi(y), y \circ \varphi(y)); y \in J'\}$   
 $= \{(f(y), y); y \in J'\}$  ( $f = x \circ \varphi$ )  
右辺は  $\{(x, f(x)); x \in J'\}$  と合同 .

$\dot{x}(t_0) \neq 0$  の場合も同様 .

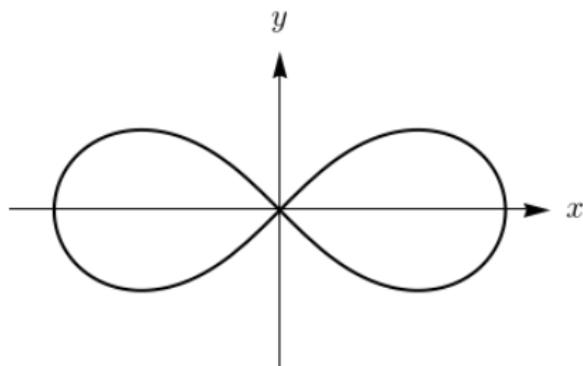
□

## 例 (レムニスケート)

レムニスケート (周期  $2\pi$ )

$$\gamma(t) = \left( \frac{\cos t}{1 + \sin^2 t}, \frac{\sin t \cos t}{1 + \sin^2 t} \right) = \frac{\cos t}{1 + \sin^2 t} (1, \sin t)$$

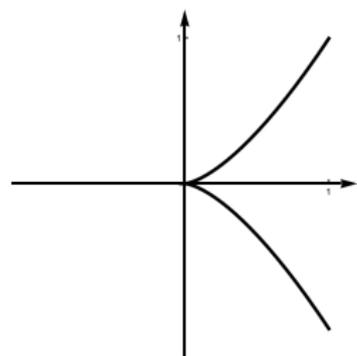
$$\dot{\gamma}(t) = -\frac{\sin t(2 + \cos^2 t)}{(1 + \sin^2 t)^2} (1, \sin t) + \frac{\cos t}{1 + \sin^2 t} (0, \cos t) \neq \mathbf{0}$$



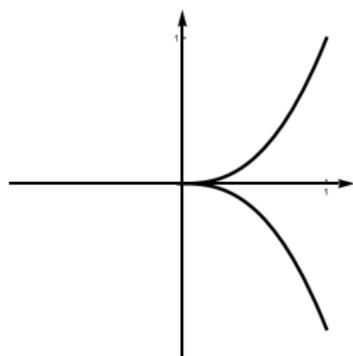
$$\gamma(\pm \frac{\pi}{2}) = (0, 0)$$

## パラメータ表示の特異点

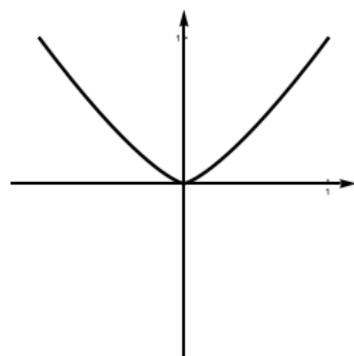
- ▶ パラメータ表示された曲線  $\gamma$  の特異点： $\dot{\gamma}(t_0) = 0$  となる点.
- ▶  $\dot{\gamma}(t_0) = 0$  という事だけから曲線の形はわからない.



$$(t^2, t^3)$$



$$(t^2, t^5)$$



$$(t^3, t^4)$$

# 陰関数定理

## 定理 (講義資料 5; 系 5.3)

$\mathbb{R}^n$  の領域  $U$  上で定義された  $C^\infty$ -級関数  $F: U \rightarrow \mathbb{R}$  が,  
 $\mathbf{a} = (a_1, \dots, a_n) \in U$  で

$$F(\mathbf{a}) = 0, \quad \frac{\partial F}{\partial x_n}(\mathbf{a}) \neq 0$$

を満たしているとき,  $\mathbf{a} \in U$  の近傍  $V$  と  $(a_1, \dots, a_{n-1}) \in \mathbb{R}^{n-1}$  の近傍  $W$  上で定義された関数  $f$  が存在して  
 $\{\mathbf{x} \in V; F(\mathbf{x}) = 0\} = \{(w, f(w)); w \in W\}$ , とくに  
 $F(w, f(w)) = 0$  ( $w \in W$ ) が成り立つ.

# 曲線の陰関数表示

定理 (講義資料 5; 系 5.5)

$\mathbb{R}^2$  の領域  $U$  で定義された  $C^\infty$ -級関数  $F$  に対して  
 $S := \{(x, y); F(x, y) = 0\}$  が空集合でないとする. もしも  $S$  の  
各点で  $dF = (F_x, F_y) \neq \mathbf{0}$  ならば,  $S$  は  $\mathbb{R}^2$  の自己交叉をもたない  
なめらかな曲線となる.

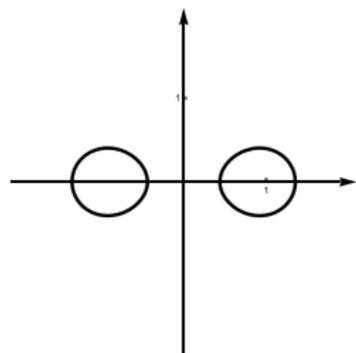
## 例 (カッシニの橙線 Cassinian oval)

例

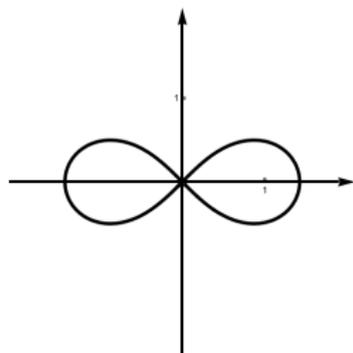
2点  $(\pm 1, 0)$  からの距離の積が一定  $b^2$  ( $b > 0$ ) な点の集合  $S_b$  は

$$F_b(x, y) := ((x - 1)^2 + y^2)((x + 1)^2 + y^2) - b^4$$

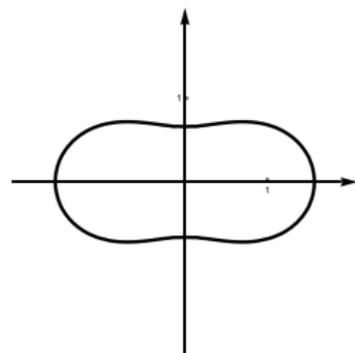
の零点集合 (カッシニの橙線)  $b \neq 1$  のときなめらかな曲線を与える.



$b = 1.2$



$b = 1$



$b = 0.9$

## 陰関数表示の特異点

陰関数  $F(x, y) = 0$  で与えられる  $xy$  平面の曲線上の点  $(x_0, y_0)$  が特異点であるとは,

$$dF(x_0, y_0) = (F_x(x_0, y_0), F_y(x_0, y_0)) = \mathbf{0}$$

となることである .

### Example

レムニスケート (カッシニの橙線の  $b = 1$  の場合) 上の点  $(0, 0)$  は特異点である .

## 陰関数の微分公式

陰関数  $F(x, y) = 0$  が  $y$  について,  $y = f(x)$  と書けるとき,

$$f'(x) = -\frac{F_x(x, f(x))}{F_y(x, f(x))}.$$

### 問題

$f''(x)$  を  $F$  の偏導関数で表しなさい.

## 問題 5-1

### 問題

次は正しいか，理由をつけて答えなさい．

1.  $\mathbb{R}$  の開区間  $I$  上で定義された  $C^\infty$ -級関数  $f: I \rightarrow \mathbb{R}$  が  $I$  の各点で  $f' \neq 0$  を満たしているとする． $f$  は単射で， $C^\infty$ -級の逆写像  $f^{-1}: f(I) \rightarrow I$  が存在する．
2.  $\mathbb{R}^2$  の領域  $U$  上で定義された  $C^\infty$ -級写像  $g: U \rightarrow \mathbb{R}^2$  のヤコビ行列式が  $U$  の各点で零でないならば， $g$  は単射で， $C^\infty$ -級の逆写像  $g^{-1}: g(U) \rightarrow U$  が存在する．

## 問題 5-2

### 問題

$F(x, y) = x^4 + y^4 - 1$  とおくと,  $F^{-1}(\{0\})$  は平面のなめらかな曲線を与える. この曲線の曲率は符号を変えないことを示しなさい.